

2020年度 大学院 2期
2021年度 大学院 1期A日程

小論文

【経済系】

【経営系】

【税法系】

(試験時間 60分)

《注意事項》

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 受験票の通信欄で指定された問題を解答してください。
【経済系】は2ページ、【経営系】は4ページ、【税法系】は6ページです。
3. 解答用紙は【経済系】【経営系】【税法系】の3枚をこの問題冊子に挟み込んでありますが、解答する問題用の解答用紙を使用してください。
4. 試験開始後に、解答する問題用の解答用紙に受験番号と氏名を記入してください。
5. 試験時間中に問題冊子・解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
6. この問題冊子と使用しなかった解答用紙は、試験終了後に持ち帰ってください。

余白ページ

【経済系】

第1問 独占的競争における長期均衡の条件を述べたうえで、「製品の多様化」、「生産コストの効率性」の視点から完全競争のケースと比較しなさい。(400字以内)

第2問 費用逡減産業において問題となる資源配分の歪みについて、400字以内で説明しなさい。

余白ページ

【経営系】

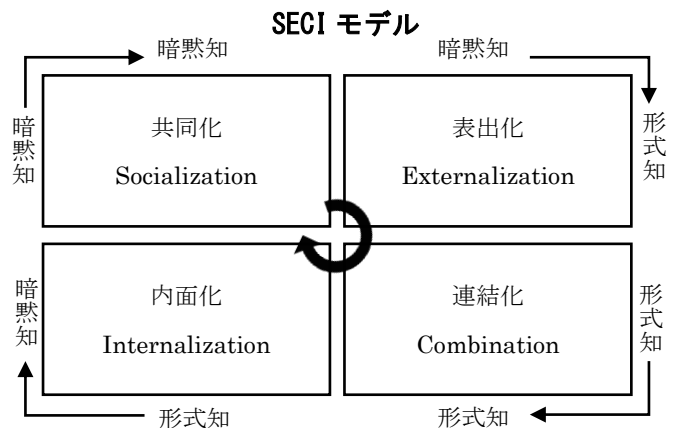
第1問 事業が多角化した大企業において、投資判断を行う戦略手法として PPM（プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント）と呼ばれるものがある。PPM では、製品あるいは事業を図のように縦軸を相対的市場成長率、横軸を相対的市場占有率として、4つの象限からなるマトリックス上に位置付ける。これにより各製品や事業のポジションを明確にして、どの製品・事業に投資すればよいのかという経営資源の配分における意思決定の基準を提供する。

この PPM の4つの象限は、それぞれ「花形製品」「問題児」「金のなる木」「負け犬」と呼ばれる特性を持つ。この各象限には、どのような製品あるいは事業が分類されるか、また、各象限での適切な投資判断について説明しなさい。（400字以内）

		市場占有率	
		高	低
市場成長率	高	花形製品	問題児
	低	金のなる木	負け犬

第2問 わが国から発信された経営戦略論として「知識創造理論」がある。これは、野中郁次郎によって提唱されたものである。わが国の企業にみられた知識創造プロセスをもとに導き出された「SECIモデル」は、組織における知識の「共同化→表出化→連結化→内面化」という一連のプロセスを解明し、こうした知識創造活動を可能とする企業を「知識創造企業」と名付けた。1990年代以降の経営戦略論において、経営資源として「知識の創造」を行う能力を保有しているかどうかにかかっていると捉えられるようになった。

それでは、なぜ知識の創造が企業の競争優位性の持続において重要なのか、暗黙知と形式知という言葉を用いながら説明しなさい。（400字以内）



余白ページ

【税法系】

問題 「課税単位」という概念の内容及び現在の所得税法における課税単位に関する取扱いにつき、所得税法 56 条に触れた上で 800 字以内で述べなさい。

《参考》 所得税法 56 条

『居住者と生計を一にする配偶者その他の親族がその居住者の営む不動産所得，事業所得又は山林所得を生ずべき事業に従事したことその他の事由により当該事業から対価の支払を受ける場合には，その対価に相当する金額は，その居住者の当該事業に係る不動産所得の金額，事業所得の金額又は山林所得の金額の計算上，必要経費に算入しないものとし，かつ，その親族のその対価に係る各種所得の金額の計算上必要経費に算入されるべき金額は，その居住者の当該事業に係る不動産所得の金額，事業所得の金額又は山林所得の金額の計算上，必要経費に算入する。この場合において，その親族が支払を受けた対価の額及びその親族のその対価に係る各種所得の金額の計算上必要経費に算入されるべき金額は，当該各種所得の金額の計算上ないものとみなす。』

